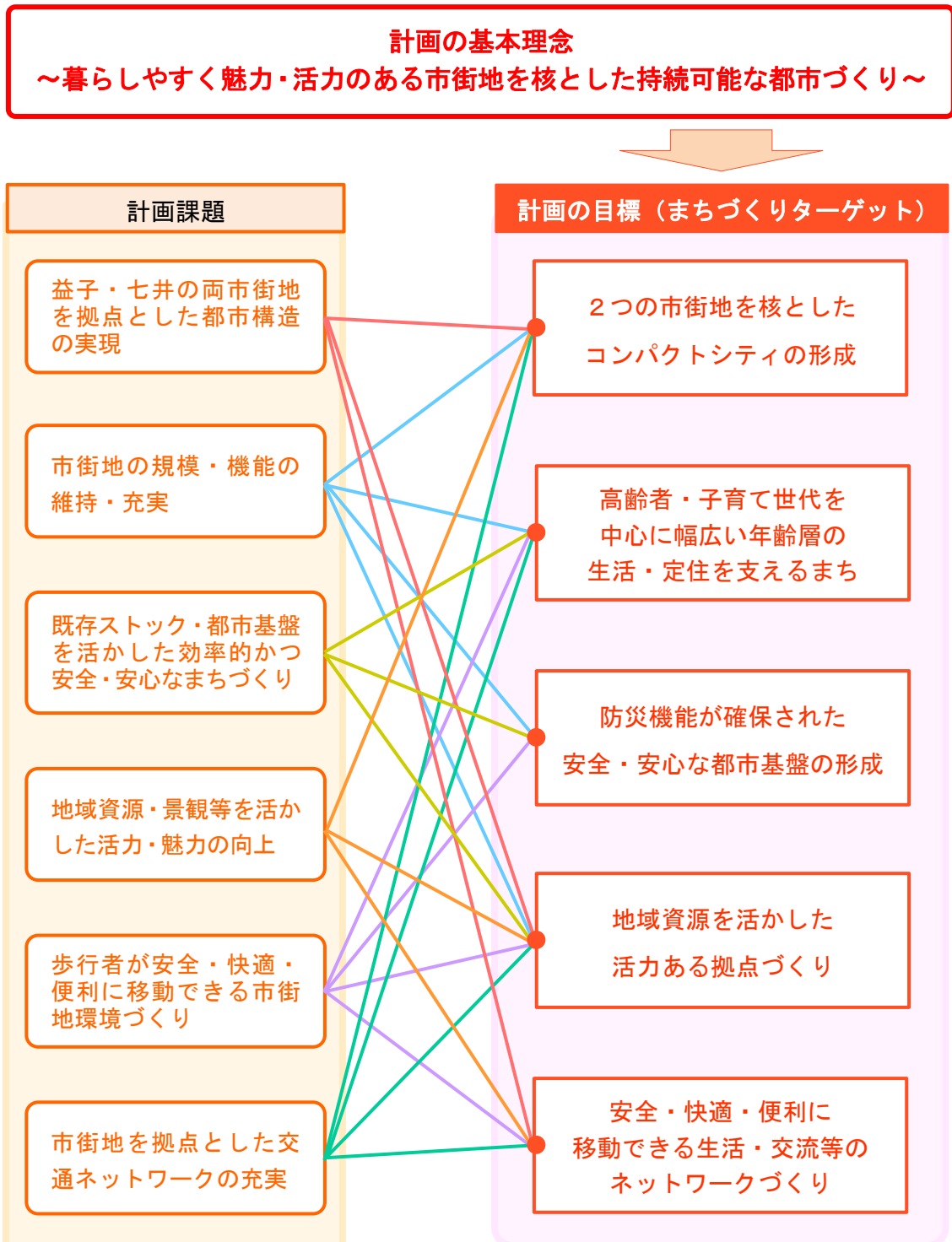


第2章 まちづくり方針

1. 計画の目標

上位計画等の将来像実現や現況課題解消等の視点から設定した計画課題を踏まえ、本計画における基本理念と、本計画において重点的に対応する目標（まちづくりターゲット）を設定します。



2. まちづくり方針

(1) 2つの市街地を核としたコンパクトシティの形成

① 益子地区・七井地区の用途地域におけるまちづくり拠点の形成

益子地区・七井地区の用途地域においては、都市基盤や公共施設などの整備が行われ、住民の生活全般を支える機能が集積し、道路・鉄道など交通利便性に優れた便利で暮らしやすい居住拠点が形成されています。

こうしたまちづくりの経緯を継承し、将来の持続可能なまちづくりの核として位置付け、本町のコンパクトシティの拠点として位置付け、それにふさわしいまちづくりを進めます。

② 拠点ごとの位置づけ・役割を踏まえた市街地構造・機能の形成

両市街地について、町の中心的な機能が集積する益子地区、交通利便性に優れた居住拠点が形成されている七井地区など、現状や都市計画マスタープラン等における位置づけ・役割を踏まえた都市構造・将来像に基づくまちづくりを進めます。

③ 都市機能誘導において全町的な公共施設再編との整合・連携

都市機能誘導においては、「益子町公共施設等総合管理計画」と連携しながら、本計画におけるコンパクトシティ形成の目的を踏まえ拠点内における立地の維持・誘導となるよう計画運用を図ります。

④ 関連する部門と連携した都市機能の充実・強化

都市機能については、生活に関連する各部門（教育・子育て、医療、福祉等）の施策・事業（整備や再編・再配置）との連携により効率的な誘導を図ります。

⑤ 人口定住の基盤となる市街地環境づくり

都市活動や生活全般を支える都市機能を利用しやすく、高齢になっても歩いて暮らせる市街地を形成し、定住維持や移住促進等、居住誘導の基盤づくりを図ります。

⑥ 市街地・集落のネットワークによる町全域での活力向上と持続可能なまちづくり

本計画では長期的な視野のもとで2つの市街地を中心としたコンパクトシティ形成を図りながら、町内の各地域ごとの伝統・文化・地域資源の保全や活性化についても配慮し、町全体としての持続可能なまちづくりを目指します。

(2) 高齢者・子育て世代を中心に幅広い年齢層の生活・定住を支えるまち

① 超高齢社会に対応した歩いて安全・便利に暮らせる生活環境の形成

超高齢化等の人口構造の変化に対応し、高齢者を中心に、生活サービス機能が歩いて利用できる範囲に集積し、公共交通で便利に移動できる暮らしやすい生活環境形成を図ります。

② 長期的な人口の維持・増加を見据えた居住誘導

人口ビジョンやまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、長期的な人口の維持を見据えた居住誘導（若年層・子育て世代）を図ります。併せて、生産年齢人口や高齢者を含めた幅広い年齢層が暮らしやすい拠点形成を図ります。

(3) 防災機能が確保された安全・安心な都市基盤の形成

① 安全・安心な拠点への都市機能・居住の誘導

生活サービス施設の立地や居住・移住等の維持・促進においては、近年の頻発化・激甚化する自然災害を踏まえ、安全・安心な都市基盤が確保された拠点への誘導を図ります。

② 関連部門との連携による防災機能の強化

安全・安心な拠点形成に向け、防災の総合的な指針である「益子町地域防災計画」「益子町国土強靱化地域計画」を前提に、これらの計画との連携による防災機能の強化を図ります。

(4) 地域資源を活かした活力ある拠点づくり

① 観光・交流における強みである陶芸を中心とした活性化

本町の観光・交流における強みである陶芸を中心とした観光商業や自然を活かした散策・レクリエーション機能などを活用した魅力と活力のある拠点形成を図ります。

② 都市機能立地や移住・定住を促進する魅力づくり

店舗等の立地や定住・移住を促進する魅力ある拠点とするため、良好な生活環境形成と地域資源を活かした活性化の取組の継続とさらなる充実を図ります。

(5) 安全・快適・便利に移動できる生活・交流等のネットワークづくり

① 公共交通と連動した歩いて暮らせるまちづくり

益子地区・七井地区における鉄道による芳賀郡及び茨城県方面とのネットワーク、路線バスによる両市街地間及び宇都宮方面とのネットワーク、デマンド交通による町内の移動ニーズへの対応など、コンパクトシティに不可欠なネットワーク環境を支える公共交通機能を活かした歩いて暮らせるまちづくりを図ります。

② 地域資源と歩行者・自転車の移動環境が連携したウォーカブルなまちづくり

生活サービスにおける移動ニーズに加え、陶芸をはじめとする本町の地域資源を歩行者・自転車が安全・快適に巡ることができる“ウォーカブル”なまちづくりを進めます。